

製品名: リン酸化 HDAC5 (Ser498) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab00916

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 122 kDa; Observed MW: 122 kDa

抗原情報

遺伝子名	HDAC5
別名	HD5; NY-CO-9
遺伝子 ID	10014
SwissProt ID	Q9UQL6
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

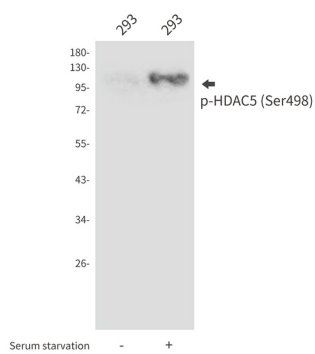
コアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) の N 末端リジン残基の脱アセチル化を担う。ヒストンの脱アセチル化はエピジェネティック抑制の標識となり、転写調節、細胞周期の進行、そして発生過程において重要な役割を果たす。ヒストン脱アセチル化酵素は、巨大

な多タンパク質複合体の形成を介して作用する。筋細胞エンハンサー MEF2C の転写を抑制することで筋成熟に関与する。筋分化過程においては細胞質へ移行し、筋細胞エンハンサー因子の発現を促進する。乳がんにおいて、MTA1 を介した ESR1 発現のエピジェネティック制御に関与する。

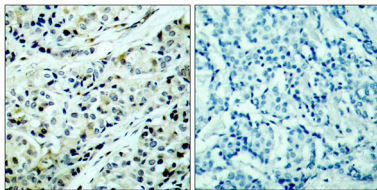
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



Phospho-HDAC5 (Ser498) 抗体を使用した 293 溶解物中の Phospho-HDAC5 (Ser498) のウエスタンブロット分析。



HDAC5 (リン酸化 Ser498) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。